

## ＊平成26年度に

◆町民1人あたりに使ったお金  
212万3千円 (前年:176万7千円)

◆町民1人あたりの町税負担額  
14万1千円 (前年: 13万8千円)

※計算基礎人口 4,874人  
(平成27年3月末現在)

# まちの 台所事情

町民のみなさんから納めていただいた税金などが、どのように使われ町の財政が運営されているかについて、平成26年度決算の概要をお知らせいたします。

お問い合わせは、企画財政課財政担当(☎2-4290)まで

### 支出は、 前年度から17.7%増加

平成26年度の決算は、6会計全体の収入で106億9035万円、支出では103億4722万円となり、前年度と比較して、収入は14億2022万円(15.3%)の増、支出は15億5407万円(17.7%)の増となりました。

翌年度に繰り越して使う財源を除いた実質収支は、2億9683万円の黒字となり、このうち一般会計は2億8616万円の黒字決算となりました。

### 一般会計(収入)

地方交付税・国庫支出金は減少、道支出金・寄付金が増加

国から交付される地方交付税交付金は28億7282万円、一般会計の収入全体の32.0%(図2)を占めています。前年度比較で3億830万円(9.7%)の減少となりました。

町税は6億8798万円で、579万円(0.1%)増加となりました。

国庫支出金は3億577万円で、水道施設関係事業の完了等により、2億1151万円(40.9%)減少、道支出金は10億8726万円で、農業関係事業及び認定こども園建設事業等により、7億8059万円(254.5%)増加しました。

寄付金は、ふるさと納税制度による寄

付が増えたことにより9億5847万円で、7億1322万円(290.8%)増加となりました。

町の借金である町債は14億2676万円で、介護・医療施設を建設する社会医療法人への補助金等により5億4623万円(62.0%)増加となりました。

### 一般会計(支出)

総務費では、ふるさと納税による寄付者への感謝特典として本町特産品の発送を行いました。

民生費では、認定こども園を建設。また、町民が安心・安全に住み続けられ、質の高いサービスを提供するため、介護・医療施設を建設する社会医療法人及び、地域密着型特養や小規模多機能型居宅介護施設などを建設する社会福祉法人に対し、建設費の助成を行いました。さらに、義務教育期間中の医療費を助成する子ども医療費助成事業を継続して行いました。

農林水産業費では、法人の農業施設建設への補助事業、十勝ナイタイ和牛預託促進事業や、農道整備事業などを実施しました。ナイタイ高原牧場については、指定管理者制度により管理運営を行いました。また、地籍の明確化を図るため、地籍調査事業を実施しました。

商工費では、企業の振興を促進

■表1 平成26年度決算総括表

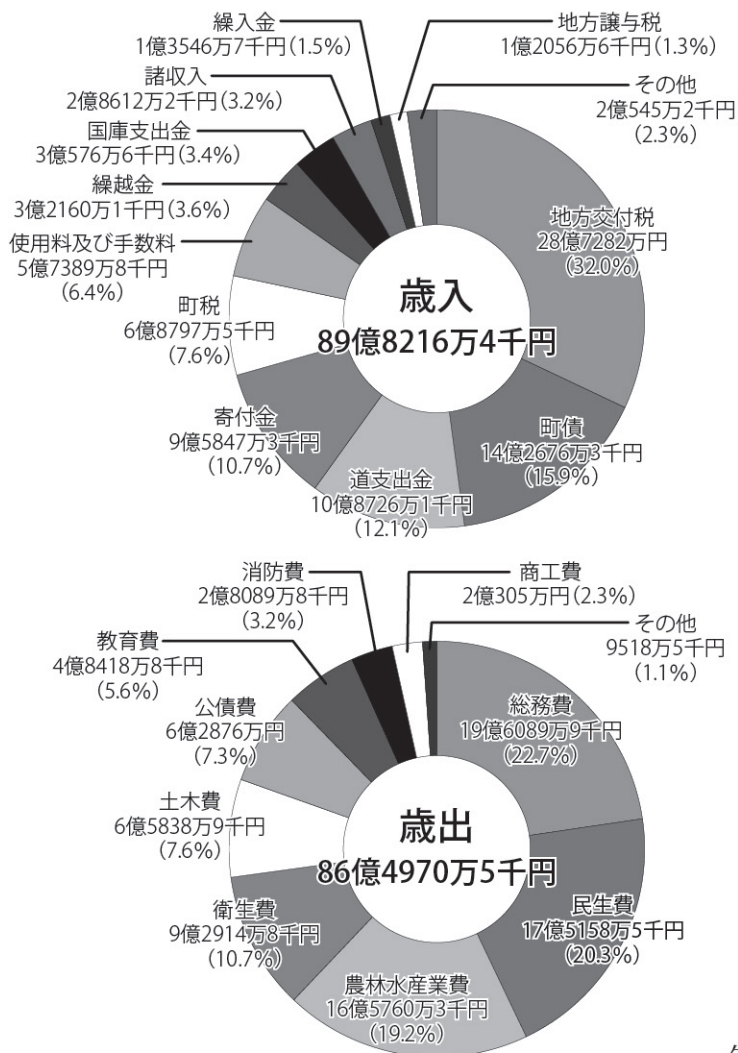
会計	区分	平成26年度	平成25年度	増減率
一般会計	歳入	89億8,216万4千円	73億5,675万6千円	22.1%
	歳出	86億4,970万5千円	69億15万4千円	25.4%
国保会計	歳入	7億8,196万6千円	8億160万9千円	△2.5%
	歳出	7億7,523万1千円	7億9,804万3千円	△2.9%
後期高齢者医療会計	歳入	8,842万3千円	8,462万1千円	4.5%
	歳出	8,616万1千円	8,193万1千円	5.2%
介護保険会計	歳入	4億1,869万5千円	4億5,495万9千円	△8.0%
	歳出	4億1,794万9千円	4億4,175万3千円	△5.4%
水道会計	歳入	1億9,009万4千円	3億4,862万1千円	△45.5%
	歳出	1億8,956万8千円	3億4,809万6千円	△45.5%
下水道会計	歳入	2億2,900万3千円	2億2,355万9千円	2.4%
	歳出	2億2,860万2千円	2億2,317万2千円	2.4%
総計	歳入	106億9,034万5千円	92億7,012万5千円	15.3%
	歳出	103億4,721万6千円	87億9,314万9千円	17.7%

するための助成を行うとともに、継続して商店街活性化対策事業を実施しました。また、ぬかびら源泉郷地区の今後の整備を検討・推進するため整備構想の作成を行いました。

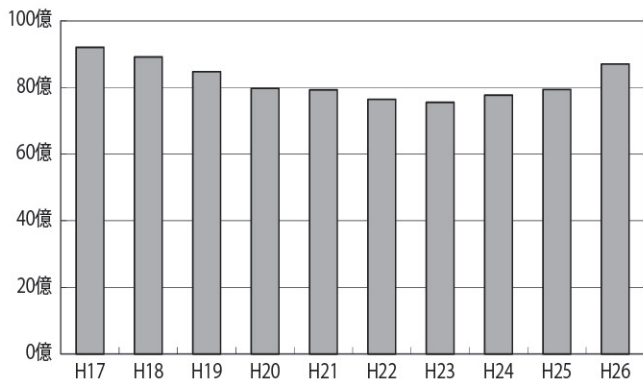
土木費では、役場北側のコミュニティセンター線道路及び、役場駐車場を整備。また、定住促進対策として、民間活力による賃貸住宅の建設に助成する定住促進賃貸住宅建設費助成事業を実施するとともに、子育てを行うための住宅を新築・購入する方への子育て住宅建設費等助成事業を実施しました。



■図2 一般会計収支の内訳



■図3 町債(借入金)現在高の推移



■表4 基金(積立金)現在高の状況

基金の名称	平成26年度末現在高	基金設置の目的
財政調整基金	18億7,041万9千円	災害や一時的な財源不足等の場合のための財源
減債基金	9億1,965万0千円	町の借入金の返済財源
公共施設整備基金	22億8,416万2千円	将来の公共施設の整備・解体撤去費用のための財源
旧国鉄土幌線コンクリートアーチ橋保存基金	3億1,608万9千円	旧国鉄土幌線アーチ橋の保存対策及び解体撤去の際の財源
ふるさと納税・子育て少子化対策基金	2億6,690万4千円	ふるさと納税の寄付金を財源とした子育て支援及び少子化対策に要する経費
土幌線代替輸送確保基金	2億 812万4千円	旧土幌線の代替バスの赤字補てん・購入補助、交通公園等管理経費等
社会福祉基金	1億5,541万4千円	援護を要する高齢者及び重度障がい者等の福祉対策のための財源
土地開発基金	1億 760万2千円	将来の公共施設用地の取得基金
学校教育施設整備基金	1億 427万1千円	学校教育施設の整備費用のための財源
その他(8基金)	2億8,486万6千円	
合計	65億1,750万1千円	

### 特別会計

特別会計は、国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険・水道・下水道の5事業

教育費では、中学校グラウンド照明設置工事や、生涯学習センター改築に向けた基本設計委託事業を実施しました。また、ふるさと納税の寄付金を財源に、老朽化したスクールバスを更新。さらに、継続して魅力ある学校づくりに取り組む上土幌高等学校振興会に補助を行いました。

### 借金総額は約87億円 借入金残高は増加

公共施設の建設や介護・医療施設の建設に対する助成、道路・下水道などの整備のために国などから借りている借入金の平成26年度末現在高は、87億44万円で前年比7億5756万円の増となり(図3)、借金残高総額が増加しました。

で、決算状況は決算総括表(表1)のとおりとなっています。

### 貯金総額は約65億円

将来の町づくりのために積み立てている積立金の残高は、17基金合計で65億1750万円となっています(表4)。このうち社会福祉など特定の目的のための基金を除く災害復旧や公共施設整備のための基金(財政調整基金・公共施設整備基金)は、41億5458万円で、前年比1億4324万円増加しました。また、ふるさと納税の寄付金のうち、子育て支援及び少子化対策に要する経費へ充てるための基金(ふるさと納税・子育て少子化対策基金)は2億6690万円で、前年比2億2690万円増加しました。